

高度救助隊 スーパーレスキューかごしま

平成19年2月、高度救助隊（スーパーレスキューかごしま）が発足しました。

倒壊した建物内の生存者を捜索する最新の機材などを備え、優れた技能を持つ隊員14人で編成されています。

大規模災害や特殊災害が発生したとき、いち早く出動して負傷者の救出活動を行う精鋭ぞろいのレスキュー隊です。

■ 縦穴救助訓練

マンホールに落ちた人を救助する訓練です。
一刻も早く救助するため、何度も行います。



■夜間用暗視装置

夜間や暗闇でも人の動きなどを映像で確認できる装置です。



■画像探索機Ⅱ型

地震や風水害などでガレキや倒壊した建物の中に閉じ込められた人を画像や音声などで見つけ出します。



■熱画像直視装置

赤外線によるカメラで夜間や煙の充満した火災現場で逃げ遅れた人の救助や異常熱源の発見などに使います。

